

(2023) 年度

児童館事業年間活動報告書

(26・榎原) 児童館

活動名 (★新規)	実施回数	参加人数											内容	成果と課題	
		乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア			合計			
			自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生	大学生	大人				
(2) 遊びの教室															
はじめての卓球教室	0											0	はじめて卓球をする児童に対し、道具の説明・準備の仕方・ラケットの持ち方・レシーブとサーブ体験・ルール説明・片づけ方などを指導。	対象児童が多く、密になるため中止。かわりに「卓球あそび」の際に、可能な日はボランティアの方に来ていただき、ご指導をお願いした。	
オセロあそび	3		15	8	2	2	0	0	0	0	0	2	5月13日(土)、27日(土)、6月3日(土)実施。トーナメント表を作成し、対戦して遊びながら、ルールを定着させていった。	飛び入り参加も受け付けながら、楽しく対戦することができた。ナナメを返し忘れがちなので都度声を掛ける。	
プラバン工作	1	3	8	14	2	2	0	4	0	0	0	0	33	8月15日(火)に、事前予約制で計画。夏休みを利用し、普段できない遊びを体験する機会とした。台風のため、9月9日(土)に延期した。	幼児親子も小学生も喜んで参加していた。プラバンが焼けて縮む様子を全員見ることができて、不思議な現象に喜んでいた。
卓球あそび	4		5	20	2	3	0		0	0	5	35	「卓球しようデー」にかわる取組として実施。可能な時は、地域のボランティアの方に来ていただいた。	卓球を楽しみにしている子は多く、ルールの定着にもつながった。地域の方が教えに来てくださるのを楽しみにしている。	
将棋あそび	24			268		6							274	1月5日(金)～2月2日(金)実施。「はさみしようぎ」「王様詰め」のカードを用意した。ていねいにルールを伝え、遊びを伝えていく機会とした。	カードが埋まっていくことを喜び、対戦を繰り返し楽しんでいった。
こま記録会	6			48									48	1月22日(月)～1月27日(土)実施。運動場にこま台を出し、こまの長回しの個人記録をとった。	個人の記録をとってもらえることを喜び、自分なりに目標をもって意欲的に取り組んでいた。
もしかめ記録会	6			83		13							96	2月5日(月)～2月10日(土)実施。もしかめの回数の個人記録をとった。	一人ひとりの自分なりの頑張りが数字として見えて喜んでいった。結果の貼り出しも心待ちにしていた。
リズムゴムとび	14		2	233		6							241	2月13日(火)～2月29日(木)実施。歌に合わせて、決められた順序でリズムよくゴムを跳んだり足にひっかけたりして遊ぶ。	室内でリズムゴムとびができる場を設定したことで、参加者が増えた。毎日、リズムゴムとびを楽しみにしている子もいた。
ソリティアあそび	22		6	754	1	40	0	0	0	0	0	0	801	3月1日(金)～3月27日(水)実施。子ども検定員を導入し、30番まで合格した子の希望者は自分が合格した範囲内の問題なら検定ができるようにした。	普段体を動かす遊びをすることが多い子も積極的に参加し、取り組んでいた。子ども検定員については、分からない人にはヒントを教えるなど、自主的に行動し、活躍していた。
卓球しようデー													0	例年は、洛西老人福祉センターの利用者の方々にボランティアとして卓球教室でご指導いただく。5・7・9・11・2・3月に実施していた。	洛西老人福祉センター連絡をとり、再開の相談をしたが、ボランティアの方々のご都合により、卓球教室としての再開は難しかったため、「卓球あそび」の日に可能な時はご指導に来ていただいた。参加した子は意欲的に指導を受けていた。

避難訓練	12	4	0	415	0	74	0	4	0	0	6	503	月1回、避難訓練を実施。	月1回のペースで開催。1年生のみの訓練、室内遊び中の訓練、おやつ前の訓練など、時間帯を変えたり、出火場所も本館や分室どちらも想定したり、職員のみ訓練を行ったり、様々な状況を想定して訓練を行った。
春のおたのしみ会		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	仲間作りのきっかけや児童館を幅広く知ってもらうための取組として、4月に参加募集を行い、みんな遊びを行う。	新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止。
館内オセロ大会		1		17	2	4	0	7	0	0	3	34	6月10日(土)実施。 ブロック大会出場者を決めた。	5人リーグは試合が多すぎて子どもの集中が続きにくかった。保護者、学童0Bが審判のお手伝いをしてくれたり、観覧の保護者も多く、よい雰囲気だった。
館外活動(夏)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	学童クラブ・児童館事業合同でお出掛け。	学童クラブ児童の人数が多く、安全面を考慮して中止。
館外活動(冬)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	学童クラブ・児童館事業合同でお出掛け。	学童クラブ児童の人数が多く、安全面を考慮して中止。
館内卓球大会	1	0	2	2	4	0	0	0	0	0	1	9	11月4日(土)に実施。 ルールが分かり、サーブが打てる小学生対象。ブロック卓球大会の出場者を決めた。	低学年の部4名と、高学年の部3名参加。参加者が少なかったためリーグ戦にした。試合数が多く、喜んでた。それぞれが力を発揮し、一生懸命取り組んでいた。
わくわくランド子ども実行委員会	1		2		2							4	10月号のおたよりで3年生以上の児童に対し、わくわくランドのスタッフ募集を呼びかけた。実行委員会は10/7(土)に実施した。	ポスター作りなど、意欲的に取り組んでいた。わくわくランド当日は、「モシカメチャレンジ」のコーナースタッフとして活躍していた。
クリスマス会子ども実行委員会	1			2	2	1						5	11月号おたよりで3年生以上の児童を対象に、クリスマス会のスタッフ募集をよびかけた。実行委員会は、12/2(土)に実施。	5年生がうまく進行し、役割分担などスムーズに決まった。活発に意見を出し合い子どもたちで内容を決めていったので作業時間が足りなくなってしまった。実行委員会の日程をもう少し早められるとよかった。
自由来館クリスマス会	1		16	4	2	1						23	12/9(土)に実施。参加費でおやつを購入し、サンタからのプレゼントをもらった、ゲームや出し物を皆で楽しんだ。	23名参加。普段なかなか児童館に遊びに来ることができない子も楽しめる機会になった。実行委員の子どもたちで声を掛け合って、自分たちで会を進行していた。
館内将棋大会	1		6	2	1	1		2			2	14	2/3(土)、はさみ将棋と王様つめの対戦を行った。	9名参加。参加児童の保護者の方が審判を引き受けてくださった。楽しんで参加して下さり、児童館の雰囲気も知ってもらえた。はさみ将棋と王様つめのどちらかだけでも参加できるが、両方参加した児童が多かった。
放課後学び教室後の利用	随時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	従来は放課後学び教室を利用した児童のうち、保護者が申し込んだ児童について、小学校から直接児童館を利用できるようにしている。	学童クラブ児童数が多く密を避けられず、学び教室代表者との協議により、学び教室からの児童館利用、学童クラブの学び利用は行わないことにした。

(4) クラブ活動															
ほっとクラブ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3年生以上を対象とした、登録制高学年クラブ。子どもと話し合いながら活動内容を企画し、活動は7月から1月まで。	令和5年度は参加者なし。	
(5) 地域間交流促進活動															
西京ブロックオセロ大会	1	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	4	西京区の児童館の代表選手が西京児童館に集まって対戦する。	6月24日(土)に実施。4名出場し、異年齢・他館の子どもたちと試合ができ、それぞれなりに手ごたえが感じられて喜んでいた。	
西京ブロック卓球大会	1	0	0	4	2	1	0	0	0	0	0	7	西京区の児童館の代表選手が上里小学校に集まって対戦する。	11月18日(土)に実施。低学年・高学年チームともに優勝。参加した子どもたちが仲間として応援したり励まし合う姿が見られた。	
西京ブロック交流ドッジボール大会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	西京区の児童館のうち、近隣数館で集まって対戦する。	7月1日(土)松陽児童館企画の交流大会に参加予定だったが、雨のため延期。延期日程が児童館行事と重なったため不参加だった。	
西京ブロック将棋大会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	西京区の児童館の代表選手が西京児童館に集まって対戦する。	2/3に開催されたが、榎原児童館は、参加を見送った。	
(6) 障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進															
(7) 思春期児童の活動支援															
5時以降の中高校生利用※	随時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	登録用紙を記入した中高生を対象に、17時以降にゆっくり過ごす場所を提供する。	学童クラブ登録児童が17時以降お迎えの待機場所として遊戯室を使用しているため、中学生の利用はできなかった。	
合 計	155	31	95	2491	23	258	0	31	0	0	19	2948			
推 進 活 動	(9) 地域を知る活動													0	
	(10) 移動児童館活動													0	
	合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
子ども育成機能 合 計	155	31	95	2491	23	258	0	31	0	0	19	2948			

*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。
 推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。
 指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。

(2023) 年度 児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書 (26・檜原) 児 童 館

活動名(★新規)	実施回数	参 加 人 数										内 容	成 果 と 課 題						
		乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア					合計					
			自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生	大学生	大人								
※ (1) 乳幼児とその保護者を対象とする活動 ①乳幼児クラブ活動																			
ちびっこクラブ	19	89	0	0	0	0	0	79	3	0	0	171	1歳半から就学前までを対象とした、登録制の幼児クラブ。体操・ふれ合い遊び・季節行事・遠足などを通して、親子や友だち同士の交流を深める。	遠足や季節の工作など、楽しく参加していた。会終了後に自由遊びの時間を設け、交流をもてるようにした。					
②乳幼児の広場活動																			
なかよしひろば	33	112	0	0	0	0	0	109	0	0	0	221	乳幼児を対象とした自由参加の広場。体操・手遊び・わらべうた・絵本の読み聞かせなどをおこなう。	2～11組の参加があった。毎回、来られる人数はまばらだったが、新規の方も参加しやすい穏やかな雰囲気。体操を気に入って楽しみにしている子どもも多い。					
乳幼児親子対象のランチタイム	随時												乳幼児親子を対象に、昼食が取れる場所を提供していた。	令和4年度までは感染症拡大防止のため中止。今年度は、5月から新型コロナが5類に移行となり、昼食場所を提供していたが、お申し出がなかった。					
(2) 家族参加を促す活動																			
マミーズヨガ	5	0	0	0	0	0	0	33	0	0	5	38	子どもも一緒に参加できるプログラムの、「マミーズヨガ」として開催。子育て中の保護者を対象に、リフレッシュを目的とした年間登録制のヨガクラブを実施。	本格的なヨガ教室で、毎年人気の事業である。子育て中の保護者が対象で、お母さんがヨガをしてすっきりすることで、また子育てが頑張れる事業となるよう目的を持って開催している。昨年より継続参加の方が多い。					
健康体操												0	子育て中の保護者を対象に、ゴムバンドを使って産後や育児中の肩こり、腰痛解消等のための簡単な体操を行う。子どもも一緒に参加できる。	講師の都合により中止。					
合 計	57	201	0	0	0	0	0	221	3	0	5	430							
(3) 子育て家庭相談・援助活動	子どもの年齢	件数	受 理 及 び 相 談 経 路				件数	相 談 内 容			件数	つないだ機関等	件数						
	乳児	3	児童館にて直接受理				4	健全育成問題			37	児童相談所							
	幼児		児童相談所					家庭養育問題			1	保健センター							
	小1～3年(自由来館)	1	保健所					成長・発達問題			2	西京子どもはぐくみ室	1						
	小1～3年(学童)	37	西京子どもはぐくみ室					教育問題				幼稚園・保育園							
	小4～6年(自由来館)		主任児童委員					非行・問題行動				小学校							
	小4～6年(学童)		その他					その他			1	中学校							
	中学生		}						{ 元児童館利用者の行動について }			1	総合支援学校						
	高校生																		
	その他																		
件数 計	41	-				4	-			41	-	2							

		グループ名	構成人数	活動内容	育成・支援内容	成果と課題
	(4)子育てグループを育成・支援する活動	母親自主サークル「まんまる」	スタッフ数名＋自由参加(申込制)	親同士の語り合い・季節行事等の内容で、月1回・自由参加形式で活動されている。	備品貸出・活動場所支援。スタッフの方の相談にのる。サークルの基本的な活動に必要な教材等の提供。	乳幼児親子に対して先輩ママとして、必要な情報や活動を提供しておられる。サークルメンバーだけでなく、内容によっては、メンバー外の参加もあった。
		母親自主サークル「あのね」	スタッフ数名＋自由参加(申込制)	1歳前後の乳児を対象とした母親自主サークル。季節行事や工作、親同士の話し合い等親子で楽しめる内容。基本的には自由参加だが、登録して毎回参加することもできる。	備品貸出・活動場所支援。スタッフの方の相談にのる。サークルの基本的な活動に必要な教材等の提供。	自身も乳幼児の子育て中の為、参加する子どもとその保護者も楽しめる内容を企画されている。子どもの入園などで、代表が代替わりしながら継続しているが、後継者を育てることが毎年課題となっている。令和6年度は活動を休止される。
推進活動	(5)子育てと健全育成に関する啓発活動	活動名	実施回数	活動内容		
		「京都市家庭ごみ有料指定袋無料引換券」の引換	随時	ゴミ袋を引換に来られた際に、おたよりを配付するなどして児童館事業の案内をしている。		赤ちゃん訪問のちらし、児童館のおたよりや桜原学区子育て支援連絡会の広報紙、西京はぐくみだよりを渡し、児童館の案内をする機会にしてい
		子ども用品・子育て用品「ゆずります！もらいます！」事業	随時	子育て用品を譲りたい人と欲しい人が情報交換できる掲示板を設置していたが、老朽化し、撤去した。		利用者がいないのが課題。

※注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動〔①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動〕(2)家族参加を促す活動に分類して記入すること。

活 動 名 (★新規)	実施回数	主 催	参 加 人 数							連携団体	成 果 と 課 題		
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人			合 計	
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ						
西京こどもまつり	1	西京こどもまつり実行委員会								0	西京区の児童館・学童保育所	5月20日(土)ラクセーンで開催。家族で遊びに来ている方も多かった。	
檜原ふれあい動物園	1	檜原学区子育て支援連絡会	189	1						133	323	檜原学区子育て支援連絡会	11月29日(水)檜原東児童公園で実施。4年ぶりに再開することができ、参加者も動物とのふれあいを喜んでた。
鉄道模型をみよう	2	檜原児童館	16	13	9	2	1	1		21	63	鉄道模型同好会「どうりん」	8/19(土)、3/23(土)実施。幼児さんも小学生も喜んで見ていた。家族での参加が多い。
おもちゃ病院	2	檜原児童館	10	5		1				13	29	SKYサークル「おもちゃ病院」	7/8(土)、2/24(土)に実施。事前予約制にしたことで、待ち時間等が少なく実施できた。楽しみに待っている方も多い取組。
観劇会	1	檜原学区子育て支援連絡会	31	11	9	1	2			48	102	檜原学区子育て支援連絡会	9月16日(土)檜原小学校ミーティングルームで実施。『ポテト劇場』さんに公演していただいた。乳幼児から小学生まで幅広い年齢の子どもたちが楽しんで参加していた。
わくわくランド	1	檜原児童館	70	101	12	24	2			115	324	檜原児童館学童クラブ保護者会・檜原社会福祉協議会(児童福祉委員会・障がい者福祉委員会)・檜原地域女性会	10月28日(土)檜原児童館・檜原小学校ミーティングルームで実施。地域の方、保護者会の協力のもと、久しぶりに再開できた。学童クラブ登録家庭の来場時間を分けたことで、混雑しすぎることなく遊びのコーナーなどを楽しんでいた。
京都やんちゃフェスタ		京都市児童館学童連盟									0	やんちゃフェスタ2022 実行委員会	今年度も、京都市予算が下りなかったため、梅小路公園での開催は中止となり、ウェブでの開催となった。
高齢者と子どもの交流クリスマス会	1	檜原学区子育て支援連絡会	21	13	9	1				64	108	檜原学区子育て支援連絡会	12月16日(土)檜原小学校ミーティングルームで実施。『京都ノイエ合唱団』の演奏を聞いたり、学童クラブ有志の子どもたちがもしかめの発表をした。
内部研修会	1	檜原学区子育て支援連絡会								15	15	檜原学区子育て支援連絡会	1月31日(水)「檜原ってどんなところ？」をテーマに学区社協会長、民生児童委員協議会会長を講師にお招きし、檜原学区の身近な話をしていただいた。歴史的な質問まで丁寧に答えてくださり、とても勉強になった。
「講演会」	1	檜原学区子育て支援連絡会								45	45	檜原学区子育て支援連絡会	2/17(土)「助け合いの精神」をテーマに檜原小学校校長を講師に迎え、親しみをこめてお話しいただき、地域の方からは校長先生の人柄がわかる講演会だった、校長先生のこと身近に感じられた等、感想が寄せられた。

(1) 地域住民との交流を促進する活動

地 域 基 本 社 促 活	檜原学区子育て支援連絡会会議	3	檜原学区子育て支援連絡会 (檜原児童館)							31	31	檜原学区子育て支援連絡会	令和5年度は、会議を3回実施。各施設の状況についての情報交換や、事業再開についての話し合い・事業報告等を行った。 また、「赤い羽根共同募金助成金」の支援を受けることができ、4年ぶりに檜原ふれあい動物園を再開することができた。他にも観劇会や高齢者と子どもの交流クリスマス会も再開でき、多くの地域の方々が参加してくださった。	
	児童館運営委員会	1	児童館運営委員会							10	10	児童館運営委員会	6/21(水)18:30から檜原児童館2階、遊戯室にて実施。年に一度開催し、児童館運営の報告を行った。	
	子育てサロン「じゅげむ」 (※施設提供)	11	檜原社会福祉協議会	71					3	131	205	檜原社会福祉協議会	毎月、第2水曜日に実施されている。0歳を中心とした事業で、参加者も多い。子育てに関する勉強会や、お楽しみ会などをされている。 内容も充実していて、来られた方はみなさん楽しんで過ごされている。	
	母親自主サークル 「まんまる」 (※施設提供・活動支援)	5	まんまる	4						23	27	母親自主運営 「まんまる」	工作・ママトークなど、子どもだけでなく、大人も楽しめる企画を設定。サークルメンバーを中心に活動されている。	
	母親自主運営「あのね」	7	あのね	18	1					23	42	母親自主運営 「あのね」	主催者も参加者も同じ年頃の子どもを持った母親の会。その時その時の参加者のニーズに沿った様々な内容を企画運営されている。	
	檜原小学校茶道クラブ (※施設提供)										0	0	女性会	茶道クラブへの施設提供は現在行っていない。今年度から、檜原小学校の授業で茶道が入るようになったため、児童館に置いてあった備品も先生方が取りに来られた。
	檜原地域女性会の活動 (※施設提供)	68	檜原地域女性会							463	463	3B体操、民謡	毎月定期的に児童館を利用して、練習されている。	
	合 計	106	—	430	145	39	29	5	4	1135	1787			

進 機 能	活 動 内 容 ※()内はVo.の所属等の詳細	活 動 人 数				成 果 と 課 題
		中高生	大学生	大人	合計	
(2) ボランティア活動の推進	日常の遊びのボランティア	1	0		1	学童クラブのOBや地域の方が日常のあそびのボランティアとして活動して下さり、児童館の様子を知ってもらいきっかけとなった。
	卓球しようデーの指導 (洛西老人福祉センター「卓球同好会」)	0	0	0	0	令和5年度は、卓球同好会の方々のご都合により中止。卓球しようデーにかわり、卓球あそびの日の可能な時にご指導に来てくださった。
	将棋教室の指導 (地域在住の個人)	0	0	0	0	ボランティアの方々に来ていただくことはできなかったため、将棋教室は中止。かわりに対戦カードを作成し、1月5日～2月3日まで将棋あそびを行った。
	わくわくランドのスタッフ (介助者・保護者会・地域在住の個人)	0	0	0	0	令和5年度は保護者会、女性会、民生児童委員の方々がスタッフとして参加して下さった。
	自由来館クリスマス会にてマジックショー披露 (地域在住の個人)	0	0	0	0	毎年恒例でクリスマス会のゲストとしてお招きしている。ボランティアの方の体調不良により、今年度は中止。
	各種館内大会の審判・見守り (保護者会・地域在住の個人)	0	0	5	5	学童クラブ保護者の方にお願ひし、有志で審判等を手伝っていただいた。子どもたちの様子を見てもらう機会になった。
	ブロック大会・館外活動の引率 (保護者会)	0	0	0	0	ブロック大会は人数が少ないため、保護者会の方には引率はお願ひせず、職員のみ引率で参加した。 館外活動は安全面を考慮して中止。
	鉄道模型をみようのスタッフ (鉄道模型同好会「どうりん」)	0	0	6	6	準備から設置まで考えていただき、毎回子どもたちが楽しめるよう、企画してくださっている。久しぶりの再開で見に来た子どもたちは喜んでいました。
	おもちゃ病院のスタッフ (SKYサークル「おもちゃ病院」)	0	0	14	14	6～8人の方々が、スタッフとして壊れたおもちゃを直しに来てくださる。直しきれなかったものは、持ち帰って修理し、後日持参して下さるので、参加者からは大変喜ばれている。
		合計	1	0	25	26

	連 携 団 体 等	連 携 内 容	成 果 と 課 題
(3) 地域との連携を促進する活動	榎原社会福祉協議会	子育て支援連絡会の事業を通じた連携及び、児童館での子育てサロン「じゅげむ」を開催されている。	子育て支援連絡会を通して連携を図り、地域に関する情報が共有できた。今年度は令和4年度まで中止していた事業も再開することができ、会議以外でも地域の方々と交流することができた。
	榎原民生児童委員協議会	子育て支援連絡会の事業を通じた連携。子育てサロン「じゅげむ」「はじめまして！赤ちゃん訪問」へのご協力。地域の子どもに関する情報交換。	
	京都市榎原中学校	子育て支援連絡会の事業を通じた連携。	お忙しいながらも子育て支援連絡会にも参加していただき、連携を図ることができた。今後も連携を深めていきたい。毎月、校長先生がおたよりを持参して下さる。
	京都市榎原小学校	児童館日より全校配布・学童クラブ児童の担任とのおたより交換。子育て支援連絡会の事業を通じた連携。来館児童に関する情報交換。分室借用による、日常的な連携。	日常的に分室として学校の教室や運動場をお借りしたり、長期休暇中の学童児童の居場所や、子育て支援連絡会等、様々な場面で、ミーティングルームや体育館などの会場を提供していただき、活動を行うことができた。
	榎原保育園 月見が丘こどもの家 白百合保育園 京都三ノ宮幼稚園 小規模園三ノ宮 小規模事業所 むらさわ保育園 小規模事業所 南の風保育園 洛西愛育園 ののほな教室 児童養護施設 積慶園 乳児院 積慶園 つどいの広場バンブーホーム 洛和桂小規模保育事業所 とも乳児保育室	子育て支援連絡会の事業を通じた連携。	子育て支援連絡会の事業を通して、各施設団体の近況報告や情報交換を行うことで、榎原学区の子どもたちの現状や、困りごと、問題点を共有する。また、内部勉強会を行うことで、学びの場を作り、榎原学区の幅広い子どもたちを支えるために連携がとれつつあるのはありがたい。また、子育て支援連絡会の事業を分担して、企画・運営してもらい、基幹ステーションの負担が軽減されている。今年度は3回の会議、観劇会、榎原ふれあい動物園、高齢者と子どもの交流クリスマス会、内部研修会、講演会、広報紙の発行を行った。会議では1時間余りの短時間ではあるが、市の補助金がない中での活動の方向性や、施設団体の状況、地域の子育て家庭の情報交換を行い、研修会、講演会は内部講師による大きな学びの場となった。
	西京子どもはぐくみ室	お互いの施設におたよりを配架。はぐくみ室だよりに行事案内を掲載。子育て支援連絡会の事業を通じた連携。発達課題・問題行動のある児童に関する相談。	連絡会や事業などを通して連携を取る中で、情報交換をし、課題のある児童に関する相談を行う。区域全体の子育て家庭の状況や榎原学区の状況など情報交換をした。
	榎原自治連合会	児童館だよりの地域回覧を依頼。	自治会の方にご協力いただき、じどうかんだよりを回覧しているおかげで、地域に広く児童館事業をお伝えできている。今後も今まで通り、自治会の方々の負担にならないように、おたよりの発行期日を一定にしていきたい。
	榎原体育振興会	学童クラブ等の行事で、小学校グラウンド利用の許可をいただいた。	令和5年度は親子ドッジボール大会は中止となったため、グラウンドは利用しなかった。
	かたぎはら地域女性会	女性会主催のサークル団体への施設提供。	女性会主催のサークル団体（3B体操・民謡）の方へ施設提供をした。また令和5年度はわくわくランドも開催できたため、当日のボランティアとしても参加して下さった。
	西京消防署	避難訓練の指導を依頼。	9/12に実施。乳幼児さんを対象として、「避難訓練」と「乳幼児の誤嚥について、熱中症について」の指導をしていただいていた。毎年の指導を基に毎月行う児童館の避難訓練も定着化している。
	西京警察署	防犯訓練（職員対象）における講師を依頼。	不審者対応の方法を、実技を交えて指導していただいた。
	東榎原自治会	榎原ふれあい動物園で榎原東児童公園の利用許可をいただいている。	令和5年度は「赤い羽根共同募金助成金」の支援を受け再開でき、地域の方々の交流の場となった。参加して下さった方は楽しそうに動物と触れ合っていた。
	洛西老人福祉センター	利用者の卓球同好会の方々に、「卓球しようデー」で子どもたちの卓球指導をお願いしている。	令和5年度は卓球同好会の方々のご都合により中止したが、「卓球あそび」のときに可能な日はボランティアでご指導しに来て下さった。参加した児童は熱心に指導を受け、楽しそうにしていた。

地域	基本活動	組織名称	構成団体・個人		会議／取組頻度	議題／取組内容	成果と課題	
		(4)児童館を支える地域組織作り	運営委員会	榎原社会福祉協議会 榎原民生児童委員協議会 榎原地域女性会 榎原青少年補導委員会 榎原小学校 榎原小学校PTA 西南自治会 榎原主任児童委員 榎原保育園 榎原自治連合会	年1回	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の事業報告 ・昨年度の年間利用状況報告 ・昨年度の地域子育てステーション事業報告 ・今年度の事業年間計画 ・日常の様子（スライドショー） 	年に一度の会議の際に、スライドショーを作成し、児童館や学童クラブの様子分かりやすく伝わるように工夫している。地域の諸団体に児童館の事業を知ってもらうことで、児童館の活動にも積極的にご協力いただいている。	
福祉促進	推進活動	会場提供・備品貸出等		使用目的	提供先（団体・機関等）	成果と課題		
		《会場提供》						
		児童館遊戯室		地域女性会の活動	榎原地域女性会	「様式10-3（1）地域住民との交流を促進する活動」参照のこと。		
		児童館遊戯室・コピー印刷機		子育てサロン「じゅげむ」の活動	榎原社会福祉協議会	「様式10-3（1）地域住民との交流を促進する活動」参照のこと。		
		児童館遊戯室・育成室・コピー印刷機		子育てサークル「まんまる」の活動	西京区在住の母親グループ	「様式10-3（1）地域住民との交流を促進する活動」参照のこと。		
		児童館遊戯室・育成室・コピー印刷機		子育てサークル「あのね」の活動	西京区在住の母親グループ	「様式10-3（1）地域住民との交流を促進する活動」参照のこと。		
		児童館育成室・図書室・コピー印刷機		保護者会の総会・役員会・作業等	榎原児童館学童クラブ保護者会	「様式10-3（1）地域住民との交流を促進する活動」参照のこと。		
		《備品貸出》						
		上敷		総会時に使用	榎原地域女性会			
		乳幼児用おもちゃ		榎原小学校のつながる一む託児で使用	つながる一む			
		能力		調査名	調査目的	調査対象	調査主体	調査方法
利用者共通アンケート	利用者の意識調査			利用者全体	京都市社会福祉協議会	その場で記入・回収	児童館全体の事業に関する意識や意見を、幅広い層の利用者から知ることができた。	
わくわくランド	参加者の意識調査・次年度の運営参考			わくわくランドの要員	児童館	その場で記入・回収	コーナーを運営・お手伝いしてくださった方の意見を聞くことができた。次年度開催時の参考にしたい。	

(2023) 年度 児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書 (26・榎原) 児 童 館

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広 報 活 動	児童館だより	月1回	利用者全般 地域住民 榎原児童館運営委員 民生児童委員 小学校児童と先生 中学校	子どもはぐみ室に配架 西京保健センター配架 小学校全校配布・教室掲示 関連施設・団体へ持参 館内配架 地域回覧 ホームページ掲載	月の行事予定 行事やクラブの参加募集 など	地域の人々に、児童館の活動を知ってもらえた。行事や各種大会・クラブ活動などに、参加者を募ることができた。 近頃は携帯やパソコンで手軽に検索できるので、ホームページを見て児童館を利用されている人が増えているようだ。
	児童館の利用案内	随時	利用者全般	初来館者 学童クラブ入会説明会	児童館に関する概要の説明	児童館の役割や事業、児童館に関する詳細を、利用者に伝えることができた。
	幼児クラブ内の広報物	年5回程度	幼児クラブの保護者	幼児クラブ内で配布	学期ごとの予定・行事の詳細	クラブの内容や日程・持ち物、遠足のお知らせ等を把握してもらうことができた。
	《行事のポスター》 わくわくランドの ポスターとピラ	年1回	利用者全般 地域住民	館内に掲示 市の広報板 地域の施設に掲示 児童館だよりの裏に印刷	行事の参加の誘い	学童クラブ登録児童とその家族を中心に、たくさんの方が参加してくれた。缶バッジの実物大見本を掲載したことで、素材を持参する方がたくさんいた。
	連絡会行事のポスターとピラ	年4回	利用者全般 地域住民	館内に掲示 市の広報版 共催団体・施設に掲示 地域の施設に掲示	行事の参加の誘い	観劇会、ふれあい動物園、高齢者と子どもの交流クリスマス会、講演会のチラシを掲示した。
	西京こどもまつりの ポスターとピラ	年1回	利用者全般 地域住民	館内掲示板 児童館だよりの裏に印刷 市の広報板 地域の施設に掲示	こどもまつりの内容	たくさんの方の地域の人や子ども達が参加してくれた。
	《広報》 A4版広報紙	年1回	利用者全般 地域住民	榎原学区子育て支援連絡会の参加 団体が利用者に配布 児童館事業で配布 小学校全校配布 榎原学区各戸配布 館内配架 榎原学区子育て支援連絡会の事業で配架 ホームページ掲載	榎原学区子育て支援連絡会参加施設・団体事業の事業紹介	令和5年度5月に、新型コロナが5類へ移行したことを受け、令和4年度まで記載していたコロナに関する文面を削除し、掲載を希望された各施設・団体の事業や、園児募集に関するお知らせ等の記事を掲載し、7月に発行した。
	A3版広報紙	不定期	利用者全般 地域住民	榎原学区子育て連絡会の参加 団体が利用者に配布 児童館事業で配布 小学校全戸配布 榎原学区各戸配布 館内配架 榎原学区子育て支援連絡会の事業で配架 ホームページ掲載	榎原学区子育て支援連絡会参加施設・団体利用・活動紹介	令和3年度に発行した保存版の広報誌の内容に変更はなかったため、今年度は発行していない。 令和5年度の途中で、内容に変更があった施設・団体があったため、令和6年度は新しい内容のA3版を発行予定。
	「京都市西京区詳細図 榎原自治連合会区域図」に協賛	年1回	榎原学区自治連合会に入られている地域住民	榎原学区自治連合会に入られている地域住民に配布	児童館や周辺施設の場所の掲載	榎原小学校区の住宅地図が乗っており、周辺施設の場所が一目でわかる。
	「くらしの友 榎原」に協賛	年1回	地域住民	町内会長 町内班長 榎原学区全戸配布	児童館や周辺施設の場所及び活動内容の掲載	榎原小学校区の地図が乗っており、周辺施設の場所が一目でわかる。また、各周辺施設の活動内容が詳しく掲載されている。
榎原小学校区の「安心・安全マップ」に協賛し安全マップを配布	年1回	利用者全般 地域住民 小学校児童	児童館事業で配布 館内配架 学童クラブ児童に配布	榎原小学校区の安心・安全な場所や危険な場所、注意する場所などを掲載 児童館や周辺施設の場所の掲載	児童館を利用する際に、どこに気を付けて登館するかなどがよく分かり、子どもも大人も注意が出来る。また、榎原小学校区の地図が乗っているため、周辺施設の場所が一目でわかる。	